

学生が考える子どもの運動機能や 精神機能の発達を促す遊びや活動

—保育系短期大学学生に実施したアンケート調査結果の分析—

Play and Activity that Presses Development of Body Movement
Function and Mental Function of Children whom Students Regard
—Analysis of the Questionnaire Findings to
Child Care System Junior College Students—

澤田由美, 澤田孝二

Yumi SAWADA, Koji SAWADA

キーワード：運動機能, 精神機能, 発達, 遊びや活動

概要

保育系短期大学学生を対象として2008年7月に、学生の考える子どもの心身の発達を促す遊びや活動についてアンケート調査を実施し、回答の得られた169名分を分析した。アンケートでは、子どもの心身の発達のうち、運動機能や精神機能の発達に関係の深い19の要素（心肺の機能、平衡性、走力、正確な動き、記憶力、集中力、ねばり強さなど）を取り上げ、どのような遊びや活動がその要素の発達に効果的だと学生が考えているかを分析した。

学生が子どもの心身の発達に効果的だと思う遊びや活動として、心肺機能では「かけっこ」という回答が最も多く、平衡性では「一輪車や自転車」、敏捷性では「おにごっこ」、走力では「かけっこ」、正確な動きでは「マット運動」、指先の器用さでは「折り紙」、体の柔軟性では「バレエ」、記憶力では「トランプ」、判断力では「しょうぎ」、集中力では「本を読む」、ねばり強さでは「サッカー」、社会性では「ままごと」という回答が最も多かった。

アンケート用紙に記載された遊びや活動の中で回答総数が最も多かったのは「バスケット」であり、以下「野球」、「サッカー」、「バレーボール」、「おにごっこ」、「かけっこ」、「バレエ」、「ピアノ」、「折り紙」、「かるた」、「お絵かき」、「マット運動」と続いた。

効果が期待できる発達の要素として、バスケットでは「投力・捕球力」や「走力」、バレエでは「身体の柔軟性」や「平衡性」、なわとびでは「瞬発力・跳躍力」や「心肺の機能」、かくれんぼでは「社会性」や「判断力」、ピアノでは「音楽への興味」や「指先の器用さ」、かるたでは「記憶力」や「集中力」、ままごとでは「社会性」や「思考力・創造力」、生き物の飼育では「動植物や自然への興味」や「社会性」の発達に効果的であるという回答が多く、遊びや活動の種類によって期待できる効果にそれぞれ特徴がみられた。

1. はじめに

子どもは、日常生活の中で様々な遊びや活動を体験しながら成長していく。子どもの生活は、睡眠、食事、運動、遊び、休養、習い事、学習、家族・友人・地域の人たちとの関わりなど様々な活動から構成されており、これらの活動をバランスよく体験しながら、子どもの心身の発達が促されていく。家庭における親の関わりが重要であることはもちろんであるが、生活のかなりの時間を子ども達が過ごす保育園、幼稚園、学校においても、子どもの心身の発達を促すような保育者や教員の関わりや環境の整備が重要になってくる。

田中¹⁾は、1886～2003年に3回にわたり、全国的な幼児の運動能力測定を実施しその結果の分析を通して、元気な子どもを育てるために、園での生活の中で運動遊びを十分経験させることが極めて重要であることを指摘している。吉田²⁾は、園での保育時間内の運動量や運動遊びの内容の分析などを通して、運動遊びが体や運動の発達だけでなく、知的な発達など共関係が深いことや、子どもが運動を自発的な遊びとして行うことにより、運動が運動発達だけでなく社会性や情緒の発達にも貢献し、個々の能力を高め、意欲や態度を育てていくことになると述べている。大山³⁾は、小学生および幼児を対象として運動の好き嫌いとう運動能力の関係、発育発達に関与する要因について調査し結果の分析を通して、子どもに運動はおもしろいという意識を育むこと、人工的な運動より自然に体を動かす自発運動としての自然運動が子どもにはきわめて重要であることを指摘している。穂丸⁴⁾は、園長や保育士らを対象とした幼児の遊びに関する調査結果の分析を通して、幼児教育・保育・家庭での運動遊びが豊かに展開されるために、幼児が身体活動の楽しさを十分に体験できることの重要性を指摘し、そのために楽しさによる内発的動機づけに基づく遊びを引き出すための保育者の適切な指導があってはじめて身体発達を保障する豊かな遊びが展開されると述べている。

本研究においては、上記の先行研究でも指摘されているように、毎日の生活の中で子ども達が体験する遊びや活動が心身の発育発達のためにきわめて重要な役割を果たしていることをふまえて

ら、保育士や幼稚園・小学校教員を志望し、将来子どもの遊びや活動に関わり、健全な発育発達を支援していくために、保育や教育について日々学んでいる保育系短期大学学生が、子どもの心身の発達のために、どのような遊びや活動が、子どもの心身とりわけ運動機能や精神機能の発達を促すために重要だと考えているかを調査し、結果を分析したので、その概要を報告する。

2. 方法

保育系短期大学学生（1年生）173名を対象として2008年7月に、学生の考える子どもの心身の発達を促す遊びや活動についてアンケート調査を実施し、回答の得られた169名分を分析した。

アンケート調査は、子どもの運動機能や精神機能をいくつかの要素に分け、どのような遊びや活動がその要素の発達に効果的であるか、学生の考えを記述してもらう方法で実施した。すなわち子どもの運動機能や精神機能の発達を、①心臓や肺の機能の発達、②身体の平衡性（バランス）の発達、③敏捷性（すばやい動き）の発達、④投力・捕球力の発達、⑤走力、⑥正確な動きの発達、⑦瞬発力・跳躍力の発達、⑧指先の器用さの発達、⑨身体の柔軟性の発達、⑩調整力（身体をうまく使いこなす力）の発達、⑪思考力・創造力の発達、⑫記憶力の発達、⑬判断力の発達、⑭集中力の発達、⑮ねばり強さの発達、⑯社会性（人間関係）の発達、⑰動植物や自然への興味の発達、⑱音楽への興味の発達、⑲絵画や造形への興味の発達、以上19の要素に分け、これらの発達に役立つ遊びや活動を記載してもらう方法で調べた。学生が回答する際の参考として、33種類の遊びや活動を例として示しておいた。例として示した遊びや活動は、ブランコ、すべり台、ジャングルジム、鉄棒、マット運動、かけっこ、おにごっこ、かくれんぼ、竹馬、なわとび、木登り、けん玉、一輪車、野球、サッカー、バスケット、バレーボール、水泳、スキー、パレエ、砂場遊び、生き物の飼育、植物の栽培、折り紙、ままごと、お絵かき、歌を歌う、本を読む、電子ゲーム、しょうぎ、ピアノ、かるた、トランプである。学生は例として示された遊びや活動の中から選んだり、自分自身で考えて回答できるようにした。

集計は、運動機能や精神機能の発達を構成する要素として調査した19の要素別に、学生から回答のあった遊びや活動の種類と回答した学生数を算出するとともに、比較的回答数の多かった遊びや活動を32種類とり上げ、種類ごとに運動機能や精神機能のどのような要素の発達に効果的だと学生が考えているか、回答数の集計を行った。

3. 結果と考察

(1) 運動機能の発達に効果的な遊びや活動

学生が心臓や肺の機能の発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「かけっこ」であり138名(82%)にのぼった。以下「水泳」127名(75%)、「おにごっこ」118名(70%)、「サッカー」92名(54%)、「バスケット」83名(49%)、「なわとび」78名(46%)、「野球」60名(36%)、「バレーボール」59名(35%)、「歌を歌う」45名(27%)と続いた。これらの運動や遊びでは、走り続ける、泳ぎ続ける、跳び続けるなどの身体活動を通して心肺の機能の発達が促され、また歌を歌う活動は声を出すことにより呼吸機能の発達が促されると学生が考えていると思われる。(表1を参照)

表1 心肺機能の発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
かけっこ	138	81.7
水泳	127	75.1
おにごっこ	118	69.8
サッカー	92	54.4
バスケット	83	49.1
なわとび	78	46.2
野球	60	35.5
バレーボール	59	34.9
歌を歌う	45	26.6
かくれんぼ	22	13
スキー、スケート	19	11.2
木登り	13	7.7
バレエ	11	6.5
ジャングルジム	10	5.9
マット運動	10	5.9
鉄棒	10	5.9
すべり台	7	4.1

ブランコ	6	3.6
一輪車、自転車	4	2.4
竹馬	3	1.8
楽器演奏	3	1.8
他の造形活動	2	1.2
本を読む	2	1.2
砂場遊び	1	0.6
球技全般	1	0.6
スポーツ全般	1	0.6
ケンケン遊び	1	0.6
ダンス、お遊戯他	1	0.6
音楽鑑賞	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

学生が平衡性(バランス)の発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「一輪車、自転車」であり155名(92%)にのぼった。以下「竹馬」146名(86%)、「バレエ」89名(53%)、「マット運動」74名(44%)、「ジャングルジム」66名(39%)、「スキー、スケート」65名(39%)、「木登り」61名(36%)、「鉄棒」44名(26%)、「ブランコ」41名(24%)と続いた。一輪車、自転車、竹馬、スキー、スケートではうまくバランスを保たないと転倒してしまうので、平衡性を発達させるために極めて効果的だと学生が考えていると思われる。またバレエ、マット運動、木登り、鉄棒、ブランコなどもバランスを保つ動作の多い活動であるため、効果的だと学生が考えていると思われる。(表2を参照)

表2 平衡性の発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
一輪車、自転車	155	91.7
竹馬	146	86.4
バレエ	89	52.7
マット運動	74	43.8
ジャングルジム	66	39.1
スキー、スケート	65	38.5
木登り	61	36.1
鉄棒	44	26
ブランコ	41	24.3
平均台	34	20.1
けん玉	18	10.7

すべり台	10	5.9
バレーボール	5	3
なわとび	5	3
ケンケン遊び	5	3
野球	4	2.4
サッカー	4	2.4
バスケット	4	2.4
水泳	4	2.4
その他の固定遊具	3	1.8
新体操, 体操, 柔軟	3	1.8
かけっこ	2	1.2
その他の球技	1	0.6
おにごっこ	1	0.6
ピアノ	1	0.6
お絵かき	1	0.6
ままごと	1	0.6
本を読む	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

学生が敏捷性(すばやい動き)の発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「おにごっこ」であり138名(82%)にのぼった。以下「かけっこ」127名(75%)、「バスケット」105名(62%)、「サッカー」94名(56%)、「野球」86名(51%)、「バレーボール」86名(51%)、「かるた」36名(21%)、「なわとび」32名(19%)と続いた。これらの運動や遊びでは、敏捷に走り回る、すばやくボールを扱う、敏捷に跳ぶ、すばやく札を取るなど、敏捷な動きの多い活動であるため、効果的だと学生が考えていると思われる。(表3を参照)

表3 敏捷性の発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
おにごっこ	138	81.7
かけっこ	127	75.1
バスケット	105	62.1
サッカー	94	55.6
野球	86	50.9
バレーボール	86	50.9
かるた	36	21.3
なわとび	32	18.9
スキー, スケート	24	14.2

かくれんぼ	24	14.2
水泳	21	12.4
トランプ	15	8.9
鉄棒	8	4.7
けん玉	7	4.1
バレエ	6	3.6
マット運動	5	3
電子ゲーム	5	3
木登り	4	2.4
ドッジボール	4	2.4
一輪車, 自転車	4	2.4
ジャングルジム	3	1.8
しょうぎ	3	1.8
ブランコ	2	1.2
すべり台	2	1.2
その他の球技	2	1.2
竹馬	2	1.2
ピアノ	2	1.2
球技全般	1	0.6
新体操, 体操, 柔軟	1	0.6
スポーツ全般	1	0.6
他のスポーツ, 運動遊び	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

学生が投力や捕球力の発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「野球」であり169名(100%)にのぼった。以下「バスケット」132名(78%)、「バレーボール」91名(54%)、「サッカー」60名(36%)、「ドッジボール」22名(13%)、「けん玉」17名(10%)と続いた。これらの運動や遊びでは、ボールや玉の種類や扱いはそれぞれ異なるが、いずれも投げたり、捕ったりする動作の多い活動であるため、効果的だと学生が考えていると思われる。(表4を参照)

表4 投・捕能力の発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
野球	169	100
バスケット	132	78.1
バレーボール	91	53.8
サッカー	60	35.5
ドッジボール	22	13

けん玉	17	10
その他の球技	10	5.9
鉄棒	9	5.3
ジャングルジム	7	4.1
木登り	5	3
マット運動	2	1.2
水泳	2	1.2
ブランコ	1	0.6
球技全般	1	0.6
バレエ	1	0.6
なわとび	1	0.6
竹馬	1	0.6
スキー、スケート	1	0.6
ピアノ	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

学生が走力の発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「かけっこ」であり162名(96%)にのぼった。以下「おにごっこ」159名(94%)、「サッカー」129名(76%)、「バスケット」112名(66%)、「野球」84名(50%)、「バレーボール」32名(19%)と続いた。これらの運動や遊びはいずれも、走り回る動作の多い活動であるため、走力の発達に効果的だと学生が考えていると思われる。(表5を参照)

表5 走力の発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
かけっこ	162	95.9
おにごっこ	159	94.1
サッカー	129	76.3
バスケット	112	66.3
野球	84	49.7
バレーボール	32	18.9
かくれんぼ	26	15.4
なわとび	8	4.7
木登り	5	3
水泳	3	1.8
スキー、スケート	3	1.8
球技全般	2	1.2
ジャングルジム	1	0.6
その他の球技	1	0.6

その他の球技	1	0.6
竹馬	1	0.6
一輪車、自転車	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

学生が正確な動きの発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「マット運動」であり58名(34%)にのぼった。以下「バレエ」49名(29%)、「けん玉」45名(27%)、「なわとび」、「スキー、スケート」、「ピアノ」、「折り紙」がともに29名(17%)と続いた。マット運動やバレエでは、正確な動きをすることにより美しい演技ができ、縄跳びでは多くの回数跳ぶために正確な動きが求められる。スキーやスケートではうまく滑るために正確な動作が必要になり、ピアノでは、美しく演奏するために正確な指使いが必要になる。折り紙では正確に折ることによりきれいな作品が完成する。以上のことから、学生がこれらの活動が正確な動きの発達に効果的だと考えているものと思われる。(表6を参照)

表6 正確な動きの発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
マット運動	58	34.3
バレエ	49	29
けん玉	45	26.6
なわとび	29	17.2
スキー、スケート	29	17.2
ピアノ	29	17.2
折り紙	29	17.2
バレーボール	28	16.6
バスケット	27	16
水泳	26	15.4
鉄棒	25	14.8
竹馬	25	14.8
野球	20	11.8
サッカー	20	11.8
一輪車、自転車	20	11.8
ジャングルジム	18	10.7
木登り	17	10.1
ブランコ	16	9.5
すべり台	15	8.9

しょうぎ	11	6.5
かるた	10	5.9
かけっこ	6	3.6
おにごっこ	5	3
かくれんぼ	5	3
電子ゲーム	5	3
トランプ	5	3
ダンス, お遊戯他	4	2.4
歌を歌う	4	2.4
お絵かき	3	1.8
ままごと	3	1.8
本を読む	3	1.8
新体操, 体操, 柔軟	2	1.2
他のスポーツ, 運動遊び	2	1.2
その他の球技	1	0.6
球技全般	1	0.6
スポーツ全般	1	0.6
ケンケン遊び	1	0.6
生き物の飼育	1	0.6
植物の栽培	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

学生が瞬発力や跳躍力の発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「なわとび」であり112名(66%)にのぼった。以下「バレーボール」95名(56%),「バスケット」88名(52%),「野球」63名(37%),「おにごっこ」61名(36%),「かけっこ」57名(34%),「サッカー」54名(32%)と続いた。これらの運動や遊びでは、跳躍する、速いスピードで走ったり動き回るといった動作の多い活動であるため、効果的だと学生が考えていると思われる。(表7を参照)

表7 瞬発力・跳力の発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
なわとび	112	66.3
バレーボール	95	56.2
バスケット	88	52.1
野球	63	37.3
おにごっこ	61	36.1
かけっこ	57	33.7
サッカー	54	32

スキー, スケート	23	13.6
かるた	21	12.4
鉄棒	17	10.1
バレエ	16	9.5
マット運動	15	8.9
跳び箱, トランポリン他	14	8.3
水泳	14	8.3
かくれんぼ	7	4.1
木登り	6	3.6
ブランコ	5	3
ケンケン遊び	5	3
ジャングルジム	4	2.4
その他の球技	4	2.4
トランプ	4	2.4
なわとび	2	1.2
すべり台	1	0.6
球技全般	1	0.6
けん玉	1	0.6
一輪車, 自転車	1	0.6
電子ゲーム	1	0.6
しょうぎ	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

学生が指先の器用さの発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「折り紙」であり159名(94%)にのぼった。以下「ピアノ」138名(82%),「お絵かき」78名(46%),「電子ゲーム」53名(31%),「けん玉」35名(21%),「しょうぎ」25名(15%)と続いた。これらの活動や遊びでは、正確に折ったり描いたりする、正確に鍵盤やキーや駒を扱う、玉を正確に皿に載せるなど、正確な手や指の動きが必要となる活動であるため、効果的だと学生が考えていると思われる。(表8を参照)

表8 指先の器用さの発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
折り紙	159	94.1
ピアノ	138	81.7
お絵かき	78	46.2
電子ゲーム	53	31.4
けん玉	35	20.7
砂場遊び	31	18.3

しょうぎ	25	14.8
トランプ	19	11.2
ままごと	17	10.1
かるた	16	9.5
植物の栽培	15	8.9
手・指を使った遊び	12	7.1
生き物の飼育	5	3
木登り	4	2.4
野球	4	2.4
バスケット	4	2.4
バレエ	4	2.4
ジャングルジム	3	1.8
バレーボール	3	1.8
粘土	3	1.8
その他のゲーム	3	1.8
工作	2	1.2
鉄棒	1	0.6
サッカー	1	0.6
球技全般	1	0.6
なわとび	1	0.6
楽器演奏	1	0.6
他の造形活動	1	0.6
本を読む	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

学生が身体の柔軟性の発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「バレエ」であり149名(88%)にのぼった。以下「マット運動」148名(88%)、「木登り」17名(10%)、「鉄棒」16名(10%)、「水泳」13名(8%)と続いた。これらの運動や遊びでは、柔軟な動きをすることにより動きがスムーズになったり、美しい演技ができたりするため、効果的だと学生が考えていると思われる。(表9を参照)

表9 柔軟性の発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
バレエ	149	88.2
マット運動	148	87.6
木登り	17	10.1
鉄棒	16	9.5
水泳	13	7.7
ジャングルジム	11	6.5

バレーボール	9	5.3
新体操, 体操, 柔軟	7	4.1
かくれんぼ	6	3.6
野球	5	3
バスケット	5	3
スキー, スケート	5	3
サッカー	3	1.8
ブランコ	2	1.2
なわとび	2	1.2
他のスポーツ, 運動遊び	2	1.2
その他の固定遊具	1	0.6
跳び箱, トランポリン他	1	0.6
一輪車, 自転車	1	0.6
かけっこ	1	0.6
ダンス, お遊戯他	1	0.6
歌を歌う	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

学生が身体の調整力(身体をうまく使いこなす能力)の発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「マット運動」であり77名(46%)にのぼった。以下「鉄棒」71名(42%)、「ジャングルジム」61名(36%)、「木登り」60名(36%)、「ブランコ」53名(31%)、「バレエ」49名(29%)、「スキー, スケート」48名(28%)、「竹馬」40名(24%)と続いた。これらの運動や遊びでは、平衡性、柔軟性、巧緻性、手足の協応性など身体をうまく使いこなすことが求められる活動であるため、効果的だと学生が考えていると思われる。(表10を参照)

表10 調整力の発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
マット運動	77	45.6
鉄棒	71	42
ジャングルジム	61	36.1
木登り	60	35.5
ブランコ	53	31.4
バレエ	49	29
スキー, スケート	48	28.4
竹馬	40	23.7
一輪車, 自転車	38	22.5
水泳	36	21.3

サッカー	24	14.2
バレーボール	24	14.2
バスケット	23	13.6
野球	21	12.4
なわとび	19	11.2
すべり台	14	8.3
かくれんぼ	14	8.3
けん玉	10	5.9
かけっこ	9	5.3
おにごっこ	6	3.6
ピアノ	5	3
球技全般	3	1.8
ダンス, お遊戯他	3	1.8
折り紙	3	1.8
スポーツ全般	2	1.2
跳び箱, トランポリン他	1	0.6
新体操, 体操, 柔軟	1	0.6
歌を歌う	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

(2) 精神機能の発達に効果的な運動や遊び

学生が思考力や創造力の発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「お絵かき」であり111名(66%)にのぼった。以下「ままごと」108名(64%)、「砂場遊び」96名(57%)、「本を読む」84名(50%)、「折り紙」77名(46%)、「しよぎ」71名(42%)、「トランプ」51名(30%)、「かるた」42名(25%)と続いた。お絵かき、折り紙、ままごと、砂場遊びは、子ども自らが描き方、作り方、折り方、遊び方を考えて行う活動であり、読書では思考したり空想したりすることの多い活動である。また、しよぎ、トランプ、かるたなどは、記憶したり、対戦相手との駆け引きを考えるなど思考力を必要とするゲームであるため、学生が思考力や創造力の発達に効果的だと考えていると思われる。(表11を参照)

表11 思考・創造力の発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
お絵かき	111	65.7
ままごと	108	63.9
砂場遊び	96	56.8

本を読む	84	49.7
折り紙	77	45.6
しよぎ	71	42
トランプ	51	30.2
かるた	42	24.9
かくれんぼ	39	23.1
植物の栽培	36	21.3
生き物の飼育	34	20.1
電子ゲーム	28	16.6
ピアノ	20	11.8
歌を歌う	12	7.1
サッカー	11	6.5
バスケット	11	6.5
バレーボール	11	6.5
木登り	10	5.9
野球	10	5.9
おにごっこ	9	5.3
けん玉	8	4.7
ジャングルジム	6	3.6
バレエ	6	3.6
粘土	6	3.6
マット運動	4	2.4
その他のゲーム	4	2.4
竹馬	2	1.2
水泳	2	1.2
スキー, スケート	2	1.2
かけっこ	2	1.2
工作	2	1.2
手・指を使った遊び	2	1.2
すべり台	1	0.6
鉄棒	1	0.6
なわとび	1	0.6
一輪車, 自転車	1	1.2
ダンス, お遊戯他	1	0.6
楽器演奏	1	0.6
他の活動, 遊び	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

学生が記憶力の発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「トランプ」であり132名(78%)にのぼった。以下「かるた」118名(70%)、「しよぎ」65名(39%)、「本を読む」59名(35%)、「歌を歌う」58名

(34%), 「ピアノ」53名(31%), 「折り紙」28名(17%), 「電子ゲーム」26名(15%)と続いた。これらの遊びや活動では、カード(札)や書物や楽譜に書かれている内容を覚える、弾き方や折り方を覚えるなどの特徴のある活動であるため、学生が記憶力の発達に効果的だと考えているものと思われる。(表12を参照)

表12 記憶力の発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
トランプ	132	78.1
かるた	118	69.8
しょうぎ	65	38.5
本を読む	59	34.9
歌を歌う	58	34.3
ピアノ	53	31.4
折り紙	28	16.6
電子ゲーム	26	15.4
生き物の飼育	11	6.5
植物の栽培	11	6.5
お絵かき	10	5.9
野球	8	4.7
バレエ	7	4.1
サッカー	6	3.6
バスケット	6	3.6
バレーボール	6	3.6
ままごと	6	3.6
かくれんぼ	5	3
その他のゲーム	4	2.4
木登り	1	0.6
竹馬	1	0.6
水泳	1	0.6
スキー, スケート	1	0.6
粘土	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

学生が判断力の発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「しょうぎ」であり82名(49%)にのぼった。以下「サッカー」、「トランプ」がともに81名(48%), 「野球」、「バスケット」がともに80名(47%), 「かるた」65名(39%), 「かくれんぼ」52名(31%), 「おにごっこ」41名(24%)と続いた。これらの運動

や遊びでは、相手の動きや札(カード)の出し方など、ゲームの状況や流れを的確に判断して自分の行動の仕方を決める特徴をもつ活動であるため、学生が判断力の発達に効果的だと考えているものと思われる。(表13を参照)

表13 判断力の発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
しょうぎ	82	48.5
サッカー	81	47.9
トランプ	81	47.9
野球	80	47.3
バスケット	80	47.3
バレーボール	79	46.7
かるた	65	38.5
かくれんぼ	52	30.8
おにごっこ	41	24.3
電子ゲーム	32	18.9
生き物の飼育	19	11.2
スキー, スケート	13	7.7
木登り	11	6.5
植物の栽培	10	5.9
ままごと	8	4.7
かけっこ	7	4.1
ジャングルジム	6	3.6
バレエ	6	3.6
けん玉	4	2.4
水泳	4	2.4
その他のゲーム	4	2.4
本を読む	4	2.4
砂場遊び	3	1.8
マット運動	3	1.8
スポーツ全般	3	1.8
ピアノ	3	1.8
球技全般	2	1.2
ブランコ	1	0.6
すべり台	1	0.6
その他の球技	1	0.6
新体操, 体操, 柔軟	1	0.6
なわとび	1	0.6
一輪車, 自転車	1	0.6
お絵かき	1	0.6
折り紙	1	0.6

手・指を使った遊び	1	0.6
野外活動	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

学生が集中力の発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「本を読む」であり111名(66%)にのぼった。以下「しょうぎ」83名(49%)、「かるた」67名(40%)、「トランプ」51名(30%)、「ピアノ」48名(28%)、「電子ゲーム」43名(25%)、「けん玉」38名(23%)、「野球」37名(22%)、「お絵かき」36名(21%)と続いた。これらの活動はいずれも精神を集中させて取り組むことにより良い結果の得られる活動であるため、学生が集中力の発達に効果的だと考えているものと思われる。(表14を参照)

表14 集中力の発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
本を読む	111	65.7
しょうぎ	83	49.1
かるた	67	39.6
トランプ	51	30.2
ピアノ	48	28.4
電子ゲーム	43	25.4
けん玉	38	22.5
野球	37	21.9
お絵かき	36	21.3
サッカー	33	19.5
バレーボール	33	19.5
バスケット	32	18.9
折り紙	27	16
バレエ	22	13
スキー、スケート	19	11.2
一輪車、自転車	17	10.1
竹馬	15	8.9
水泳	15	8.9
歌を歌う	10	5.9
その他のゲーム	9	5.3
かくれんぼ	8	4.7
砂場遊び	6	3.6
木登り	6	3.6
鉄棒	6	3.6
なわとび	5	3

スポーツ全般	5	3
マット運動	4	2.4
かけっこ	4	2.4
おにごっこ	4	2.4
ままごと	4	2.4
ジャングルジム	3	1.8
生き物の飼育	2	1.2
ブランコ	1	0.6
球技全般	1	0.6
新体操、体操、柔軟	1	0.6
楽器演奏	1	0.6
他の造形活動	1	0.6
手・指を使った遊び	1	0.6
植物の栽培	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

学生がねばり強さの発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「サッカー」であり69名(41%)にのぼった。以下「バレーボール」66名(39%)、「バスケット」65名(39%)、「野球」64名(38%)、「水泳」、「しょうぎ」がともに40名(24%)、「おにごっこ」34名(20%)と続いた。サッカーをはじめ多くのスポーツでは、練習においてもゲームにおいても途中であきらめず、苦しさに耐えながらねばり強く取り組むことにより成果が得られる活動であるため、またしょうぎでは、相手と駆け引きしながらねばり強く取り組むゲームであるため、学生がねばり強さの発達に効果的だと考えているものと思われる。(表15を参照)

表15 ねばり強さの発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
サッカー	69	40.8
バレーボール	66	39.1
バスケット	65	38.5
野球	64	37.9
水泳	40	23.7
しょうぎ	40	23.7
おにごっこ	34	20.1
けん玉	32	18.9
かけっこ	30	17.8
鉄棒	28	16.6

生き物の飼育	27	16
植物の栽培	26	15.4
かくれんぼ	24	14.2
木登り	21	12.4
トランプ	21	12.4
スキー, スケート	19	11.2
かるた	18	10.7
なわとび	17	10.1
ピアノ	16	9.5
バレエ	15	8.9
一輪車, 自転車	15	8.9
電子ゲーム	12	7.1
竹馬	10	5.9
本を読む	7	4.1
折り紙	6	3.6
ジャングルジム	4	2.4
マット運動	4	2.4
スポーツ全般	3	1.8
その他のゲーム	3	1.8
ブランコ	2	1.2
球技全般	2	1.2
楽器演奏	2	1.2
その他の固定遊具	1	0.6
その他の球技	1	0.6
新体操, 体操, 柔軟	1	0.6
他のスポーツ, 運動遊び	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

学生が社会性の発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「ままごと」であり114名(68%)にのぼった。以下「バスケット」77名(46%),「サッカー」76名(45%),「バレーボール」75名(44%),「野球」74名(44%),「おにごっこ」69名(41%),「かくれんぼ」58名(34%),「かけっこ」36名(21%)と続いた。これらの運動や遊びは、いずれも仲間やチームなどで行う活動であり、連携や協力など人との関わりが重要になってくるものであるため、学生が社会性の発達に効果的だと考えているものと思われる。(表16を参照)

学生が動植物や自然への興味の発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「生き物の飼育」であり161名(95%)に

表16 社会性の発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
ままごと	114	67.5
バスケット	77	45.6
サッカー	76	45
バレーボール	75	44.4
野球	74	43.8
おにごっこ	69	40.8
かくれんぼ	58	34.3
かけっこ	36	21.3
砂場遊び	24	14.2
トランプ	21	12.4
かるた	18	10.7
生き物の飼育	18	10.7
本を読む	14	8.3
ぶらんこ	13	7.7
しょうぎ	12	7.1
バレエ	9	5.3
水泳	7	4.1
植物の栽培	7	4.1
他の活動, 遊び	7	4.1
すべり台	5	3
スキー, スケート	5	3
ジャングルジム	4	2.4
スポーツ全般	4	2.4
歌を歌う	4	2.4
なわとび	3	1.8
お絵かき	2	1.2
木登り	1	0.6
その他の球技	1	0.6
球技全般	1	0.6
他のスポーツ, 運動遊び	1	0.6
野外活動	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

のぼった。以下「植物の栽培」156名(92%),「木登り」52名(31%),「砂場遊び」50名(30%)と続いた。これらの活動は、いずれも自然の中に存在するものを対象にしたり、利用して行う活動であるため、学生が動植物や自然への興味の発達に効果的だと考えているものと思われる。(表17を参照)

表17 動植物・自然への興味の発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
生き物の飼育	161	95.3
植物の栽培	156	92.3
木登り	52	30.8
砂場遊び	50	29.6
野外活動	12	7.1
竹馬	9	5.3
本を読む	4	2.4
水泳	3	1.8
スキー、スケート	3	1.8
お絵かき	3	1.8
かくれんぼ	2	1.2
歌を歌う	2	1.2

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

学生が音楽への興味の発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「歌を歌う」であり167名(99%)にのぼった。以下「ピアノ」141名(83%)、「バレエ」20名(12%)、「楽器演奏」16名(10%)、「音楽鑑賞」10名(6%)と続いた。これらの活動は、歌う、演奏する、音楽を聴く、音楽に合わせて体を動かすなど、直接的・間接的に音楽と関わる活動であるため、学生が音楽への興味の発達に効果的だと考えているものと思われる。(表18を参照)

表18 音楽への興味の発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
歌を歌う	167	98.8
ピアノ	141	83.4
バレエ	20	11.8
楽器演奏	16	9.5
音楽鑑賞	10	5.9
ダンス、お遊戯他	7	4.1
電子ゲーム	3	0.6
手・指を使った遊び	2	1.2
野球	1	0.6
サッカー	1	0.6
バスケット	1	0.6
その他のゲーム	1	0.6
ままごと	1	0.6

本を読む	1	0.6
------	---	-----

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

学生が絵画や造形への興味の発達に効果的だと考える遊びや活動として、最も回答数の多かったのは「お絵かき」であり166名(98%)にのぼった。以下「折り紙」111名(66%)、「砂場遊び」58名(34%)、「粘土」21名(12%)、「工作」16名(10%)と続いた。これらの活動は、用いる素材はそれぞれ異なるが、描く、折る、作るなど絵画・造形に関わる活動であるため、学生がこれらへの興味の発達に効果的だと考えているものと思われる。(表19を参照)

表19 絵画や造形への興味の発達を促す遊び・活動

遊び・活動の種類	回答数	%
お絵かき	166	98.2
折り紙	111	65.7
砂場遊び	58	34.3
粘土	21	12.4
工作	16	9.5
他の造形活動	13	7.7
ままごと	13	7.7
本を読む	8	4.7
手・指を使った遊び	6	3.6
けん玉	2	1.2
歌を歌う	2	1.2
かるた	2	1.2
トランプ	2	1.2
すべり台	1	0.6
ジャングルジム	1	0.6
竹馬	1	0.6
ピアノ	1	0.6
植物の栽培	1	0.6
野外活動	1	0.6

(注) %は有効回答者数169名を100%として算出

(3) 回答総数の多かった遊びや活動と効果が期待できる発達の要素

アンケート用紙に記載された遊びや活動の中で回答総数が最も多かったのは「バスケット」であり、回答総数は855名に及んだ。以下「野球」790名、「サッカー」758名、「バレーボール」702名、

「おにごっこ」645名、「かけっこ」581名、「バレエ」459名、「ピアノ」458名、「折り紙」441名、「かるた」413名、「お絵かき」411名、「マット運動」404名、「トランプ」402名、「しょうぎ」393名、「水泳」318名、「なわとび」314名、「歌を歌う」306名、「本を読む」299名、「木登り」294名、「かくれんぼ」292名、「スキー、スケート」279名、「生き物の飼育」278名、「ままごと」275名、「砂場遊び」269名、「植物の栽培」264名、「竹馬」258名、「一輪車、自転車」258名、「鉄棒」236名、「けん玉」217名、「ジャングルジム」208名、「電子ゲーム」208名、「ブランコ」143名と続いた。(表20を参照)

このように、回答総数では、バスケット、野球、サッカーなどからだを使う遊びや活動が上位を占め、中でも1位から4位までをすべて球技が占めていた。またおにごっこやかくれんぼ、木登りなど昔から行われている伝統的な遊びが比較的多く含まれていた。

回答総数が855名と最も多かった「バスケット」では、効果が期待できる発達の要素として学生が最も多くあげていたのは「投力・捕球力の発達」の132名(78%)であり、以下「走力の発達」112名(66%)、「敏捷性の発達」105名(62%)、「瞬発力・跳躍力の発達」88名(52%)、「心臓や肺の機能の発達」83名(49%)、「判断力の発達」

表20 回答総数順にみた遊び・活動

遊び・活動の種類	回答総数	遊び・活動の種類	回答総数
バスケット	855	鉄棒	236
野球	790	けん玉	217
サッカー	758	ジャングルジム	208
バレーボール	702	電子ゲーム	208
おにごっこ	645	ブランコ	143
かけっこ	581	すべり台	57
バレエ	459	平均台	34
ピアノ	458	粘土	31
折り紙	441	その他のゲーム	28
かるた	413	ドッジボール	26
お絵かき	411	楽器演奏	24
マット運動	404	手・指を使った遊び	24
トランプ	402	その他の球技	22
しょうぎ	393	スポーツ全般	20
水泳	318	工作	20
なわとび	314	球技全般	17
歌を歌う	306	新体操、体操、柔軟	17
本を読む	299	ダンス、お遊戯他	17
木登り	294	他の造形活動	17
かくれんぼ	292	跳び箱、トランポリン他	16
スキー、スケート	279	野外活動	15
生き物の飼育	278	ケンケン遊び	12
ままごと	275	音楽鑑賞	11
砂場遊び	269	他の活動、遊び	8
植物の栽培	264	他のスポーツ、運動遊び	7
竹馬	258	その他の固定遊具	5
一輪車、自転車	258		

80名(47%)、「社会性の発達」77名(46%)、「ねばり強さの発達」65名(39%)、「集中力の発達」32名(19%)と続き、多くの要素の発達に効果的だと学生が考えていることがわかった。

回答総数が790名と2番目に多かった「野球」では、効果が期待できる発達の要素として学生が最も多くあげていたのは「投力・捕球力の発達」の169名(100%)であり、以下「敏捷性の発達」86名(51%)、「走力の発達」84名(50%)、「判断力の発達」80名(47%)、「社会性の発達」74名(44%)、「ねばり強さの発達」64名(38%)、「瞬発力・跳躍力の発達」63名(37%)、「心臓や肺の機能の発達」60名(36%)、「集中力の発達」37名(22%)と続き、バスケットと同様、多くの要素の発達に効果的だと学生が考えていることがわかった。

回答総数が758名と3番目に多かった「サッカー」では、効果が期待できる発達の要素として学生が最も多くあげていたのは「走力の発達」の129名(76%)であり、以下「敏捷性の発達」94名(56%)、「心臓や肺の機能の発達」92名(54%)、「判断力の発達」81名(48%)、「社会性の発達」76名(45%)、「ねばり強さの発達」69名(41%)、「投力・捕球力の発達」の60名(36%)、「瞬発力・跳躍力の発達」54名(32%)、「集中力の発達」33名(20%)と続き、バスケット、野球と同様、多くの要素の発達に効果的だと学生が考えていることがわかった。

回答総数が702名と4番目に多かった「バレーボール」では、効果が期待できる発達の要素として学生が最も多くあげていたのは「瞬発力・跳躍力の発達」の95名(56%)であり、以下「投力・捕球力の発達」91名(54%)、「敏捷性の発達」86名(51%)、「判断力の発達」79名(47%)、「社会性の発達」75名(44%)、「ねばり強さの発達」66名(39%)、「心臓や肺の機能の発達」59名(35%)、「集中力の発達」33名(20%)、「走力の発達」の32名(19%)、「正確な動きの発達」28名(17%)と続き、バスケット、野球、サッカーと同様、多くの要素の発達に効果的だと学生が考えていることがわかった。

回答総数が645名と5番目に多かった「おにごっこ」では、効果が期待できる発達の要素とし

て学生が最も多くあげていたのは「走力の発達」の159名(94%)であり、以下「敏捷性の発達」138名(82%)、「心臓や肺の機能の発達」118名(70%)、「社会性の発達」69名(41%)、「瞬発力・跳躍力の発達」61名(36%)、「判断力の発達」41名(24%)、「ねばり強さの発達」34名(20%)と続き、球技以外では最も回答総数が多かった。

回答総数が581名と6番目に多かった「かけっこ」では、効果が期待できる発達の要素として学生が最も多くあげていたのは「走力の発達」の162名(96%)であり、以下「心臓や肺の機能の発達」138名(82%)、「敏捷性の発達」127名(75%)、「瞬発力・跳躍力の発達」57名(34%)、「社会性の発達」36名(21%)、「ねばり強さの発達」30名(18%)と続き、球技以外ではおにごっこに次いで、回答総数が2番目に多かった。

回答総数が459名と7番目に多かった「バレエ」では、効果が期待できる発達の要素として学生が最も多くあげていたのは「身体の柔軟性の発達」の149名(88%)であり、以下「平衡性(バランス)の発達」89名(53%)、「正確な動きの発達」49名(29%)、「身体の調整力の発達」49名(29%)、「集中力の発達」22名(13%)、「音楽への興味の発達」20名(12%)と続いた。

回答総数が458名と8番目に多かった「ピアノ」では、効果が期待できる発達の要素として学生が最も多くあげていたのは「音楽への興味の発達」の141名(83%)であり、以下「指先の器用さの発達」138名(82%)、「記憶力の発達」53名(32%)、「集中力の発達」48名(28%)、「正確な動きの発達」29名(17%)、「思考力・創造力の発達」20名(12%)と続き、運動系の活動以外では、回答総数が最も多かった。

回答総数が441名と9番目に多かった「折り紙」では、効果が期待できる発達の要素として学生が最も多くあげていたのは「指先の器用さの発達」の159名(94%)であり、以下「絵画・造形への興味の発達」111名(66%)、「思考力・創造力の発達」77名(46%)、「正確な動きの発達」29名(17%)、「記憶力の発達」28名(17%)、「集中力の発達」27名(16%)と続き、運動系の活動以外ではピアノに次いで、回答総数が2番目に多

かった。

回答総数が413名と10番目に多かった「かるた」では、効果が期待できる発達の要素として学生が最も多くあげていたのは「記憶力の発達」の118名(70%)であり、以下「集中力の発達」67名(40%)、「判断力の発達」65名(39%)、「思考力・創造力の発達」42名(25%)、「敏捷性の発達」36名(21%)、「瞬発力・跳躍力の発達」21名(12%)、「ねばり強さの発達」18名(11%)、「指先の器用さの発達」16名(10%)、「社会性の発達」36名(21%)、と続いた。

回答総数が404名であった「マット運動」では、「身体の柔軟性の発達」が148名(88%)と最も多く、以下「身体の調整力の発達」77名(46%)、「平衡性(バランス)の発達」74名(44%)、「正確な動きの発達」58名(34%)と続いた。

回答総数が402名であった「トランプ」では、「記憶力の発達」が132名(78%)と最も多く、以下「判断力の発達」81名(48%)、「思考力・創造力の発達」51名(30%)、「集中力の発達」51名(30%)と続いた。

回答総数が393名であった「しょうぎ」では、「集中力の発達」83名(49%)と最も多く、以下「判断力の発達」82名(49%)、「思考力・創造力の発達」71名(42%)、「記憶力の発達」65名(39%)、「ねばり強さの発達」40名(24%)、「指先の器用さの発達」25名(15%)と続いた。

回答総数が318名であった「水泳」では、「心臓や肺の機能の発達」が127名(75%)と最も多く、以下「ねばり強さの発達」40名(24%)、「身体の調整力の発達」36名(21%)、「正確な動きの発達」26名(15%)、「敏捷性の発達」21名(12%)と続いた。

回答総数が314名であった「なわとび」では、「瞬発力・跳躍力の発達」が112名(66%)と最も多く、以下「心臓や肺の機能の発達」78名(46%)、「敏捷性の発達」32名(19%)、「正確な動きの発達」29名(17%)と続いた。

回答総数が306名であった「歌を歌う」では、「音楽への興味の発達」が167名(99%)と最も多く、以下「記憶力の発達」58名(34%)、「心臓や肺の機能の発達」45名(27%)と続いた。

回答総数が299名であった「本を読む」では、

「集中力の発達」が111名(66%)と最も多く、以下「思考力・創造力の発達」84名(50%)、「記憶力の発達」59名(35%)と続いた。

回答総数が294名であった「木登り」では、「平衡性(バランス)の発達」が61名(36%)と最も多く、以下「身体の調整力の発達」60名(36%)、「動植物や自然への興味の発達」52名(31%)、「ねばり強さの発達」21名(12%)と続いた。

回答総数が292名であった「かくれんぼ」では、「社会性の発達」が58名(34%)と最も多く、以下「判断力の発達」52名(31%)、「思考力・創造力の発達」39名(23%)、「走力の発達」26名(15%)、「敏捷性の発達」24名(14%)、「ねばり強さの発達」24名(14%)と続いた。

回答総数が279名であった「スキー、スケート」では、「平衡性(バランス)の発達」が65名(39%)と最も多く、以下「身体の調整力の発達」48名(28%)、「正確な動きの発達」29名(17%)、「敏捷性の発達」24名(14%)と続いた。

回答総数が278名であった「生き物の飼育」では、「動植物や自然への興味の発達」が161名(95%)と最も多く、以下「社会性の発達」58名(34%)、「思考力・創造力の発達」34名(20%)、「ねばり強さの発達」24名(14%)と続いた。

回答総数が275名であった「ままごと」では、「社会性の発達」が114名(68%)と最も多く、「思考力・創造力の発達」が108名(64%)と続いた。

回答総数が269名であった「砂場遊び」では、「思考力・創造力の発達」が96名(57%)と最も多く、以下「絵画・造形への興味の発達」58名(34%)、「動植物や自然への興味の発達」50名(30%)、「指先の器用さの発達」31名(18%)、「社会性の発達」24名(14%)と続いた。

回答総数が264名であった「植物の栽培」では、「動植物や自然への興味の発達」が156名(92%)と最も多く、以下「思考力・創造力の発達」36名(21%)、「ねばり強さの発達」26名(15%)と続いた。

以上のように、回答総数上位1~4位はバスケット、野球、サッカー、バレーボールであり、いずれも球技種目であった。これら球技種目はい

ずれも、走る、投げる、跳ぶ、すばやく動く、動き続ける、状況を判断する、チームでプレーする、ねばり強く取り組む、集中して取り組むなど多くの要素を含む種目であるため、回答総数が多くなっているものと思われる。このほか回答数の多かったものとして、おにごっこ、かけっこ、バレエ、マット運動、水泳、なわとび、木登り、スキー、スケート、竹馬、一輪車、自転車、鉄棒、けん玉、ジャングルジム、ブランコなどからだを使う遊びなどがあげられていたが、そのうち固定遊具を使う遊びはジャングルジムとブランコのみであった。また、おにごっこ、かけっこ、かくれんぼ、なわとび、木登り、竹馬、けん玉など伝統的な遊びが比較的多く含まれていた。からだをあまり使わない静かな遊びでは、かるた、しょうぎ、トランプ、電子ゲームなどがゲーム的な要素をもつものが多く含まれ、電子ゲームを除くと、昔から遊ばれていたものが多かった。またピアノ、歌を歌う、折り紙、お絵かき、砂場遊びなど音楽や造形など芸術的な要素の多いものも含まれていた。

4. まとめ

(1) 本研究においては、園や学校において、子どもの心身の発達を促すような遊びや活動が展開されるために、保育者や教員の果たす役割がきわめて重要であることをふまえ、保育士や教員を目指す学生が、子どもの心身とりわけ運動機能や精神機能の発達を促すためにどのような遊びや活動が重要だと考えているかを調査した。

(2) 保育系短期大学学生を対象として2008年7月に、学生の考える子どもの心身の発達を促す遊びや活動についてアンケート調査を実施し、回答の得られた169名分を分析した。アンケートでは、子どもの心身の発達のうち、運動機能や精神機能の発達に関係の深い19の要素（心肺の機能、平衡性、走力、正確な動き、記憶力、集中力、ねばり強さなど）を取り上げ、どのような遊びや活動がその要素の発達に効果的だと学生が考えているかを分析した。

(3) 子どもの心身の発達に効果的だと思う遊びや活動として、心肺機能では「かけっこ」という回答が最も多く、平衡性では「一輪車や自転

車」、敏捷性では「おにごっこ」、走力では「かけっこ」、正確な動きでは「マット運動」、指先の器用さでは「折り紙」、体の柔軟性では「バレエ」、記憶力では「トランプ」、判断力では「しょうぎ」、集中力では「本を読む」、ねばり強さでは「サッカー」、社会性では「ままごと」という回答が最も多かった。

(4) アンケート用紙に記載された遊びや活動の中で回答総数が最も多かったのは「バスケット」であり、以下「野球」、「サッカー」、「バレーボール」、「おにごっこ」、「かけっこ」、「バレエ」、「ピアノ」、「折り紙」、「かるた」、「お絵かき」、「マット運動」と続いた。

(5) 効果が期待できる発達の要素として、バスケットでは「投力・捕球力」や「走力」、バレエでは「身体の柔軟性」や「平衡性」、なわとびでは「瞬発力・跳躍力」や「心肺の機能」、かくれんぼでは「社会性」や「判断力」、ピアノでは「音楽への興味」や「指先の器用さ」、かるたでは「記憶力」や「集中力」、ままごとでは「社会性」や「思考力・創造力」、生き物の飼育では「動植物や自然への興味」や「社会性」の発達に効果的であるという回答が多く、遊びや活動の種類によって期待できる効果にそれぞれ特徴がみられた。

(6) このように、遊びや活動の種類によって期待できる発達の要素にそれぞれ特徴が見られることが学生に対する調査から明らかになったが、これらの結果を踏まえ、子どもの心身の機能をバランスよく発達させていくためには、保育士や教員が、どのような遊びや活動が子どものどのような面の発達に効果的であるか、遊びや活動の種類ごとの特徴を十分理解しながら、また子どもがどのような発達段階にあり、どのような遊びや活動に興味を持っているかを把握しながら、園や学校生活の中で、様々な種類の遊びや活動をバランスよく子ども達が経験できるよう配慮していくことがきわめて重要だと考えられた。

<注>

- 1) 田中浩子：子どもを元気にする幼稚園，子どもと発育発達5巻2号，76-85，(2007)
- 2) 吉田伊津美：幼少年期の運動遊びの留意点，子どもと発育発達5巻4号，204-207，(2008)

- 3) 大山良徳：幼児・小学前期子どもの発育発達とそれに関与する要因との関係，子どもと発育発達 1巻5号，326-331，(2003)
- 4) 穂丸武臣：幼児の運動遊び，子どもと発育発達 1巻3号，161-164，(2003)

<参考文献>

- ・澤田孝二，澤田由美：学生が考える子どもの運動機能や精神機能の発達を促す遊びや活動，第56回日本小児保健学会講演集，113，(2009)
- ・高石昌弘：発育発達と子どものからだ，子どもと発育発達 1巻1号，9-12，(2003)
- ・國土将平：発育段階と子どもの遊び，子どもと発育発達 1巻3号，142-147，(2003)
- ・國本桂史：子どもが熱中する遊び，子どもと発育発達 1巻3号，157-169，(2003)
- ・跡見順子：子どもの脳を育む身体活動，子どもと発育発達 2巻3号，168-175，(2004)
- ・山本祐二：心の発達にかかわる身体運動，子どもと発育発達 2巻6号，370-375，(2005)
- ・高松 薫：子どもにとっての体力・運動能力とトレーニング，子どもと発育発達 3巻2号，89-93，(2005)
- ・岩立京子：子どもの遊びが心の発達に及ぼす影響，子どもと発育発達 3巻3号，136-139，(2005)
- ・宮下充正：子どもの身体活動能力と教育，子どもと発育発達 4巻1号，45-51，(2006)
- ・中村和彦：子どもの発達を促す遊具とは，子どもと発育発達 6巻3号，138-141，(2008)
- ・無藤 隆他：事例で学ぶ保育内容「領域健康」，萌文書林，67-96，(2008)
- ・岸井慶子他：保育内容「健康」，大学図書出版，58-99，(2009)